

**P R I M A R E**  
THE SOUND AND VISION OF SCANDINAVIA



**A35.8 - 8ch Fully Bridgeable, Power Amplifier -**

User Guide



## はじめに

PRIMARE A35.8 をご購入いただき誠にありがとうございます。本機は厳重な検査を行った上でお手元にお届け致しております。本機を未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。

## 付属品

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

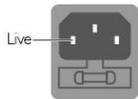
欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

本体	1 台	電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグ	1 個
Trigger ケーブル	1 本	取扱説明書 (本紙)	1 冊
検電器 (単 4 乾電池× 2)	1 個	保証書	1 部
電源ケーブル	1 本		

### 【エージングについて】

本機がより良い状態に到達するために、最初に約 24 時間のエージングを行ってください。その後、少なくとも約 3 日間のエージングを経て、徐々に音質が向上していきます。

### 【検電器のご使用について】



本機には検電器が同梱されています。検電器が赤く点灯する側が、プラス (Hot, Live) になります。また本体リアパネルの IEC 電源コード差込口は、左のピンがプラスになります。接続するコンセントの電源の極性を確認の上、本機をご使用いただけます。

### 【ご注意】

検電器の電池を交換する際は、単 4 乾電池と交換してください。また古くなった乾電池は、環境に配慮し、お住まいの市町村の指示に従って適切に廃棄してください。

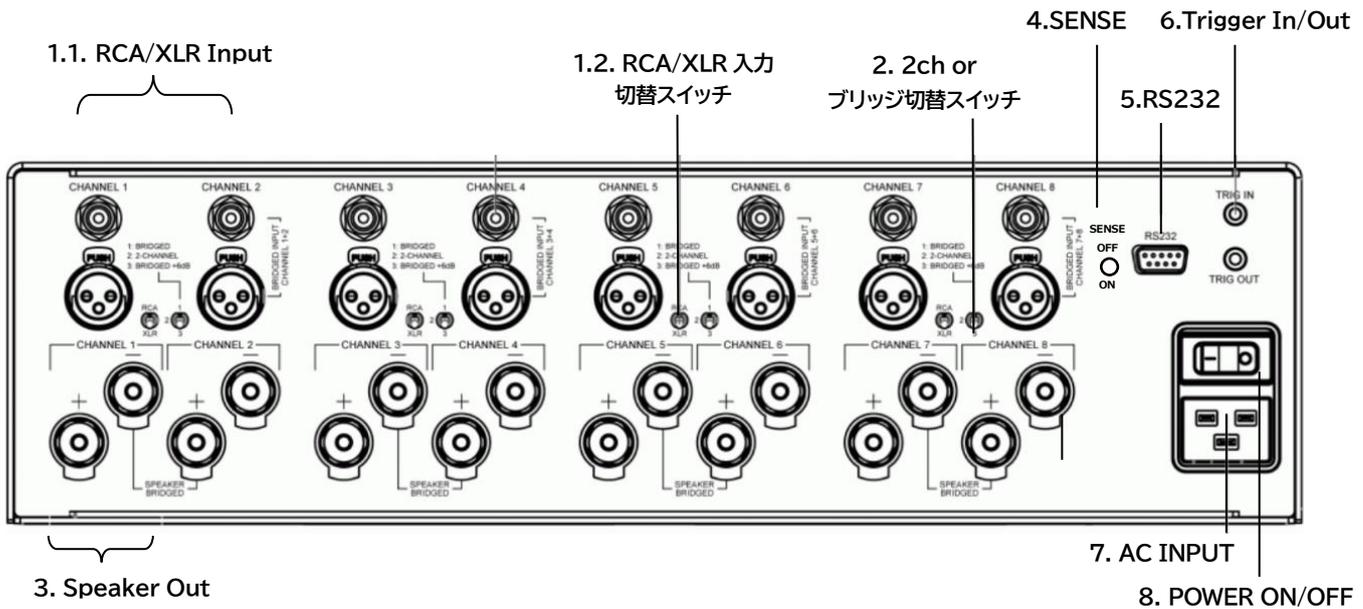
## 使用上の注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- ◆ 本機は、FCC 基準パート 15 に準ずる、Class B デジタル電子機器の制限事項に準拠しています。そのため本機は無線通信を妨害しないよう設計されていますが、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、正しく設置しない場合、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。万一電波障害が発生した場合は、以下をお試しください。
  - ・レシーバーのアンテナの向きまたは設置場所を変更する
  - ・本機とレシーバーの距離を十分にとる
  - ・本機とレシーバーの電源系列を別の回路にする
  - ・テレビ/ラジオの専門技術者に問い合わせる

※その他、別紙の「お取り扱いについて」をご参照ください。

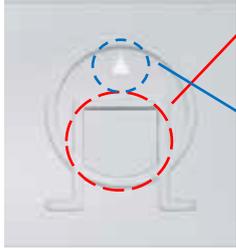
## 各部説明



1.	<p><b>1.1 RCA / XLR Input (CHANNEL1~8)</b>          ・アンバランス RCA or バランス XLR(アナログ) ×8</p> <p><b>1.2 RCA/XLR 入力切替スイッチ</b>          使用する入力端子側 (RCA or XLR) にセットしてください。          ※バランス XLR-1 番 Grand、2 番 Hot、3 番 Cold (アンバランス RCA : 上 / バランス XLR : 下)</p>
2.	<p><b>2. 2ch or ブリッジ切替スイッチ</b>          ブリッジモードの切り替え          1/上 : ブリッジモード 2/中 : ノーマルモード 3/下 : ブリッジモード時 ゲイン+6dB          各ペア、全 4ch で選択可能          (CHANNEL1,2 / CHANNEL3,4 / CHANNEL5,6 / CHANNEL7,8)</p>
3.	<p><b>3. Speaker Out (CHANNEL1~8)</b>          スピーカー出カターミナル          極性に注意して接続してください。(奇数 CHANNEL のマイナス(-)、偶数 CHANNEL のプラス(+))          スパードラグ、バナナプラグ対応。</p>
4.	<p><b>4. SENSE</b>          本機はスタンバイモードの時に入力信号が検知された場合、自動的にスタンバイモードから電源 ON (駆動) 状態になる「オートセンス機能」が備わっています。SENSE ボタンで ON/OFF を切り替えます。</p>
5.	<p><b>5. RS232</b>          RS232 コントロール端子。 <b>※注意!! : 通常使用しません。</b></p>
6.	<p><b>6. Trigger In/Out</b>          本機を PRIMARE のアンプ等と接続して、電源/ON スタンバイモード操作を接続した機器と連動して行うための端子です。IN 側で電源/ON スタンバイモード操作を行うと、OUT 側が連動します。付属の Trigger ケーブルを使用して接続します。</p>
7.	<p><b>7. AC INPUT</b>          IEC(20A)電源コード差込口</p>
8.	<p><b>8. POWER ON/OFF</b>          本体主電源の On/Off を行います。</p>

## フロントパネル



<p>① Stand-by </p> 	<p><b>Stand by/On の切替</b></p> <p>リアパネルの ⑩POWER ON/OFF ボタンを ON にし、フロントパネル中心部にあるロゴマーク内のスイッチ (左図の赤線部分)を押してください。スイッチを入れると <u>LED が何秒間か点滅し、リレー音と共に点滅が止まった後、電源が ON 状態になります。</u></p> <p>LED はスタンバイモード/電源 On 状態が表示されます(左図の青線部分)。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• スタンバイモード時には<b>暗く</b>点灯します。</li><li>• 駆動 (電源 On) 時には<b>明るく</b>点灯します。</li></ul>
---	--

## 使用方法

### ■ Connecting Mains Power 接続方法

- (1) 本体を所定の場所に設置します。
- (2) 最初に付属の電源ケーブルを、リアパネルの電源コード差込口 (6) に挿入してください。その後、壁面の電源コンセントに接続します。付属の電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグをご使用ください。

#### 【ご注意】

ケーブルを接続または取り外す場合は、必ず本体主電源を Off にしてください。  
また長期間使用しない場合も、本体主電源を Off にして、電源ケーブルを抜いてください。

- (3) リアパネルの本体主電源 (7) を On にします。
- (4) フロントパネルのインジケータが暗く点灯します (スタンバイ状態)。

### ■ Switching On 起動方法

- (1) フロントパネルの Stand-by ボタンを押します。
- (2) フロントパネルのインジケータが数秒間点滅し、その後が明るく点灯します (電源 On)。

※ 本機は 20 分間連続して入力信号が無い場合、電源 On から自動的にスタンバイモードになる「オートスタンバイ機能」(P4 参照) が備わっています。

## ■ Automatic standby オートスタンバイ機能

… 本機は 20 分間連続して入力信号が無い場合、電源 On から自動的にスタンバイモードになる「オートスタンバイ機能」が備わっています。初期状態ではこの機能は有効ですが、以下の手順で無効にすることができます。

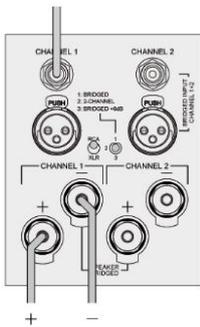
- (1) 電源が On の状態で、フロントパネルのインジケータが二回点滅するまで Stand-by ボタンを長押しします。オートスタンバイ機能が無効になります。
- (2) オートスタンバイ機能を再度有効にするには、リアパネルの本体主電源 (7) を Off にした後、再度 On にします。オートスタンバイ機能が有効になります (初期設定)。

## 接続

リアパネルの主電源スイッチが OFF であることを確認し、AV プリアンプと等とインターコネクトケーブルで接続し、各スピーカーとスピーカーケーブルで接続、最後に付属の電源ケーブルをリアパネルの電源端子にしっかりと差し込み、反対側をコンセントに接続します。

### ■スピーカーケーブル接続例

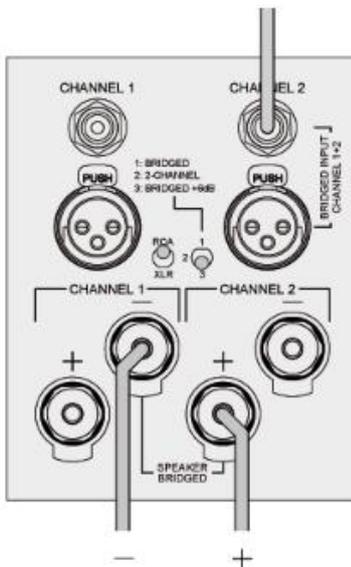
#### A. ノーマルモード (2ch/Stereo 時)



モード選択で、  
「2.2-CHANNEL」  
を選びます。

※2Ω～8Ω のインピーダンスのスピーカーが接続可能です。

#### B. ブリッジモード



1. インターコネクトケーブルは、偶数 CHANNEL (2, 4, 6, 8) に接続。  
スピーカーケーブルは、- は奇数 CHANNEL の-、+ は偶数 CHANNEL の+ に接続します。

2. モード選択で、「1. BRIDGED」を選びます。  
または、ゲインを 6dB 上げる事ができる「3. BRIDGED +6dB」を選びます。

※損傷はありませんが、1つのチャンネルで XLR と RCA 両方の入力を同時に接続する事はお勧めしません。

## トラブルシューティング

不具合が疑われる場合は、まずは全ての接続をご確認ください。また本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。下記は、一般的な問題症状と考えられる解決策になります。下記対策後も動作に変化が見られない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

症状	原因	対策
電源が入らない	電源が入っていない。	リアパネルにある主電源を ON にしてください。
	電源ケーブルが接続されていない。	電源ケーブルが奥までしっかりと接続できているか確認してください。
音が出ない	接続が正しくない。	再度、ケーブルの接続が全て正しいか確認してください。
	XLR か RCA の切換スイッチが正しく選択されていない。	各チャンネルの Input Selector を、使用している端子に合わせてください。

※上記の対策後も動作に変化が見られない場合は、購入店、または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

## Specifications

アンプモジュール	Hypex NCore 5 0 0
電源	APFC(Active Power-Factor Correction)
スピーカー出力	×8ch - 各ペアブリッジ駆動可 (最大×4ch)
定格出力	Single : 400W(2Ω) / 300W(4Ω) / 150W(8Ω)
	Bridged : 450W(2Ω) / 750W(4Ω) / 740W(8Ω)
最大出力	Single : 8ch 駆動時 最大 1500W-1ch あたり最大 185W ( 1 k Hz)
	Bridged : 4ch 駆動時 最大 1500W-1ch あたり最大 375W(1kHz) ※クリッピング保護回路による出力制限により
周波数特性	20Hz - 20kHz +0.2/-0.5dB
S/N 比	> 115dB 以上
THD+N	< 0.005% 20Hz - 20kHz / 10W at 8Ω
アナログ入力	バランス XLR or アンバランス RCA (切替式) × 8
入力インピーダンス	XLR 36kΩ / RCA 15kΩ
出力インピーダンス	< 0.02Ω
ゲイン	XLR 20dB / RCA 26dB
コントロール端子	RS232、12V Trigger 入出力
その他	オートセンス/スタンバイ、ゲイン : +6dB (ブリッジモード時)
消費電力	スタンバイ時 : <0.5W
	アクティブ時 : <65W
サイズ (W×H×D)	430×145×382(400:突起部含む)mm
重量	1 5.0 k g

PRIMARE は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。  
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。  
また本製品の輸送に必要な購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

## 保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。

修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **PRIMARE 日本輸入総代理店 株式会社ナスペック**まで



株式会社ナスペック  
〒500-8386 岐阜県岐阜市葦田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510  
FAX : 058-268-7118  
 : 0120-932-455  
E-mail : [support@naspecaudio.com](mailto:support@naspecaudio.com)

2023.7.26 (Ver 1.00)